



祝 ご卒業、中医薬膳師合格 おめでとうございます



去る2010年3月6日(土)本校にて2010年度本草薬膳学院春期卒業式並びに中医薬膳師の資格授与式が行なわれました。

卒業生、講師を併せて33名の出席で和気藹々とした雰囲気の中で行なわれました。本校顧問鷺見美智子先生よりお祝辞を頂き、劉海洋学院長より卒業証書並びに中医薬膳師資格証が各自に授与されました。劉学院長の挨拶、星奈おみ先生の祝辞に続いて、卒業を代表して11期生平日コースの梅宮さんより学院への感謝の言葉が述べられました。全国各地から幅広い年齢の方々が参加され、第11期生並びに通信生の卒業生の方々のこれからの活躍が期待されます。卒業式の後、先生方の手作り薬膳料理で祝賀パーティを行いました。卒業生の皆さん口々に「来てよかった!」とおっしゃっていました。



祝辞

本草薬膳学院顧問
本草薬膳研究会会長
鷺見 美智子

11期ならびに通信生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

皆様には1年から2年間の長きにわたって、社会で、また家庭でそれぞれのお仕事を持ちながら勉強を続けてこられ今日の喜びの日をお迎えになられました。

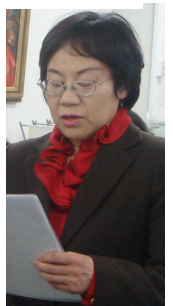
中医学に基づく薬膳は歴史が古い上に、使われている用語や理論が、現代栄養学を学んだ私達にとって馴染みがうすいものばかりです。劉先生や他の先生方の素晴らしいお講義をもってしても、薬膳の理論を十分理解することは容易なことではありません。学べば学ぶほど奥が深いことが分かってくるからです。

よく言われることですが卒業は終わりであっても終

わりではなく次へのステップの始まりであると言えます。今後、皆様もこの学院で学ばれた知識と技術の土台の上に、更に多くのものを学ばれ確かな知識と技術を身につけられ、皆様の身近な人々、社会の人々の健康を食の立場から支えていって頂けるようになって欲しいと願っています。最近プロボノ活動ということが言われて来ています。これはラテン語で pro bono publico といい「公共の利益」のための無償の奉仕を意味し、社会人の専門のスキル(熟練した技術)を無償で社会に還元する「ボランティア活動」です。

皆さんが身につけられた中国医学に基づいた薬膳の知識と技術で是非プロボノ活動につなげていって頂けたら嬉しいと思います。

今後の皆様方の一層のご発展とご活躍を心からお祈り申し上げます。ご卒業のお祝いのことばとさせていただきます。



『答辞』

卒業生代表 梅宮 光子

本日は、私達「中医薬膳師コース」第十一期生並びに通信教育生の卒業式を開催していただき、卒業生一同心より御礼申し上げます。振り返ってみますと卒業まで本当にあつという間でした。

本草薬膳学院の門を叩くことになったきっかけは、もともと少食だった父が入院し、さらに病院食を食べなくなり、持ち込みの許可が出たので、少しでも体にいいものをと、薬膳料理教室を探していました。

理論と実践のある本学院に出会えた時は「ここだ!」と思いました。が、定員オーバーで入学出来ず一年間待つて入学した価値は充分にありました。

中医学では自然界に内在している草・木・果実・動物や鉱物などの効能や効果的なとり方を二千年という時を経て、経験や知識で積み重ね発展してきた学問に驚かされます。

劉先生の授業ではその歴史ある中医学の成立に聞き入ってしまいいノートをとることさえも忘れてしまいました。理論編の平尾先生の授業は余談も勉強になりそれをノートに筆記したくなりとても時間がたりませんでした。午後からの実習で飯田先生が難解な言葉

や理論をいかに覚えるかいろいろ方法を教えていただきました。そして調理後、食べてみて自分の体がどのように反応するか毎回楽しみでした。また事務局の島田先生にも色々お世話になりましたが嫌な顔ひとつせず快く引き受けてくださりありがとうございました。

父親はすでに他界し薬膳料理を創ってあげることができませんがそのお陰ですてきなご縁をいただきました。クラスの皆さんからは助けていただき和気あいあいと楽しく勉強させていただいて居ります。

最後になりましたが劉先生、医師でありたくさんの本も出版されているにも関わらずお母さんのようにいつも笑顔で私たちを温かく受け入れつつ前向きに新しいことに果敢に取りこまれる姿を見て、私たちは誇りに思っています。また各先生方からも教えてくださる熱意とお人柄に惹かれ今日まで来ました。皆さんから色々していただいたことを忘れず大切にしていきたいです。

卒業生一同より本草薬膳学院の益々の発展を祈りつつ御礼の言葉とさせていただきます。

卒業生一同より本草薬膳学院の益々の発展を祈りつつ御礼の言葉とさせていただきます。

